

みぞぐち幸治後援会 所在地

ACCESS MAP

●●●……信号機

人吉I.C.

サンロード
相良藩店

農免道路

吉村皮膚科

ケンタッキー

JR人吉駅

山田川

ローソン

ココ

ほっかほっか亭

シンガポール・インドネシア視察記

四月二十日～二十四日までシンガポール・インドネシアへ行政視察に行ってきました。

今回の目的は、熊本県のプロモーション、コンテンツを活用したアジア戦略、ハラル市場の状況、インドネシアからの看護師派遣の状況調査等です。

シンガポールに着いて最初に訪ねたのが、デパートの食品売り場。熊本県産のお米をはじめ魚沼産、東北地方のお米が売っており好評でした。



熊本アジア事務所にてシンガポールの基礎情報や今後の可能性について説明を受けました。

シンガポールは世界貿易の要の都市、交通の要衝であり人口も増えている。国に対する投資もしやすく、比較的会社も作りやすいとのことでした。

今回の目的の一つである観光客誘致とメディアとの関係を調査する観点から、メディア企業のメディアアコーポ、日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所、熊本県出身者の西村紘一さんが会長を務められるプライムトラベルを訪問。

訪日市場の動向、シンガポールやマレーシア市場の動向、映像をどう活かすか等について説明を受けました。



その後、実際に日本へ派遣される研修生候補の方々とお会いしました。研修に取り組む姿勢、親孝行するために日本に行きたいという熱意、研修生の目の輝きを見ると、心に打たれるものがありました。



五輪 真弓さんの「心の友」という歌がインドネシアでは国歌の次に有名な曲だそうです。

その歌の名前を付けた番組がインドネシアでは日本を宣伝する唯一の番組とのこと、関係者の方々と意見交換を行いました。

九州、熊本については殆ど情報が無いとのことでしたので、「おもてなし」「ムスリム」の観点から私からPRさせて頂きました。

その結果、七月十八日から二十日まで熊本県を取材、中でも十九日にはゼンカイミート、人吉市内の取材が実現しました。

早速、視察の効果が出て良かったです。

今後広がるビザなし渡航の効果。熊本県だけで取り組むのではなく、広域的に取り組んだ方が効果的である。ムスリム対応はやれることからやっていくことなどのアドバイス頂きました。

中でも、西村会長の話には感動しました。観光という観点だけでなく、仕事に取り組む姿勢、情熱の大切さを教えて頂いたような気がしました。

また、プライムトラベルで日本を紹介する冊子を頂きました。ありがたいことに表紙はSL人吉です。



シンガポールの視察を終えて空路で深夜にジャカルタに入り、ジャカルタ・ジャパンクラブを訪問。

東京商工会議所から出向されている吉田事務局長に対応頂き、ジャパンクラブの役割や活動状況、インドネシアと日本の関わり、インドネシアのビジネス環境についてお話を伺いました。

次にJETROジャカルタを訪問し、インドネシア市場と食品事情について説明を受けました。

インドネシアは日本に対する好感度、信頼度が高いこと。連立政権で決められない政治状況が続いており、法律成立まで時間がかかる。ポテンシャルは非常に高いが、ビジネスをするのは難しいこと。人口の四割が農家のため、今後も保護政策が続く見通し。

和牛は輸入禁止なのに何故か和牛のニーズが存在しており、ハラル認証を受けた和牛が輸入解禁になると堂々と食す方々が増える。ハラルを取得した方が良いのか悪いのかは商品によって判断すべきで、ターゲットを絞って売り込まないと成功はしない。

また、インドネシアからの訪日観光客の約八割は華僑系であるという事実等々、説明を受けてこのようなことが印象に残りました。



5月18日 織月まつり



6月8日 熊本県中学生県道優勝大会



5月31日 人吉市下球磨消防組合40周年記念式典



5月21日 自民党青年部・青年局合同会議
(隣は石破茂幹事長、竹下亘組織運動本部長)



7月18日 自民党青年局有志研修会
(山口県岩国市)



6月1日 自民党青年局全国一斉街頭行動



5月12日 老人クラブ連合会定期総会